

第21期（平成29年度）

事業計画

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

1. 経営方針

1) 基本方針

- ①全ての来訪者から愛される日本一の日帰り温泉施設を目指します。
- ②来訪者の安全と快適性を最優先し、清潔で明るい温泉施設として、質の高いサービスと、心身の癒しが体感できる施設を目指します。
- ③川根温泉が地域の核となり、地域の行事やボランティア活動に積極的に関わりをもち、地域貢献を目指します。
- ④温泉の魅力を活用するための調査研究及び啓発活動を行い、誘客事業につなげてまいります。

2) 行動指針

- ①安全な場所、やすらぎを感じる空間を作り出すために安全を最優先します。
- ②相手の立場にたった、親しみやすく、心を込めたおもてなしをします。
- ③旺盛な探究心、好奇心を持ち、創意工夫を心がけます。

2. 事業活動方針

1) 事業展開のビジョン

施設のオープンから18年が経ち、商圏内での同業施設の開業、原油価格高騰によるランニングコストの増加、川根地域の少子高齢化と人口減少の加速など、施設営業に関わる様々な環境がオープン当初から大きく変化してきています。

このような状況から、温泉入浴客の集客だけに頼ることは期待できないという見通しの中で、ここ数年は温泉以外の面でも誘客していける施設を目指した事業を推進してきました。しかし、事業の達成はまだ道半ばであり、今後も粘り強く事業を継続していく必要があるため、本年度もこれを事業展開の骨子とします。

また、今や日本全国的な問題となっている労働力不足は、過疎地域にある当施設にとってはより深刻であり、これまで再任用やマルチタスクなどによって労働力を何とか確保している状況です。労働力不足は、サービスの低下、スタッフの疲弊、モチベーションの低下に繋がるため、施設運営が負のスパイラルに陥る可能性があります。そういう状況に陥らないためにも、地域ネットワークを生かしたリクルート活動とソフト・ハード両面での業務効率化を進める必要があります、これも事業展開の骨子に加えます。

《事業展開の骨子》

- ①温泉周辺の環境を整え、温泉やSL以外の目的での来訪者増を目指す。
- ②周辺施設との連携を重視し、地域への来訪者増を目指す。
- ③地域ネットワークを生かしたリクルート活動と、ソフト・ハード両面での業務効率化を目指す。